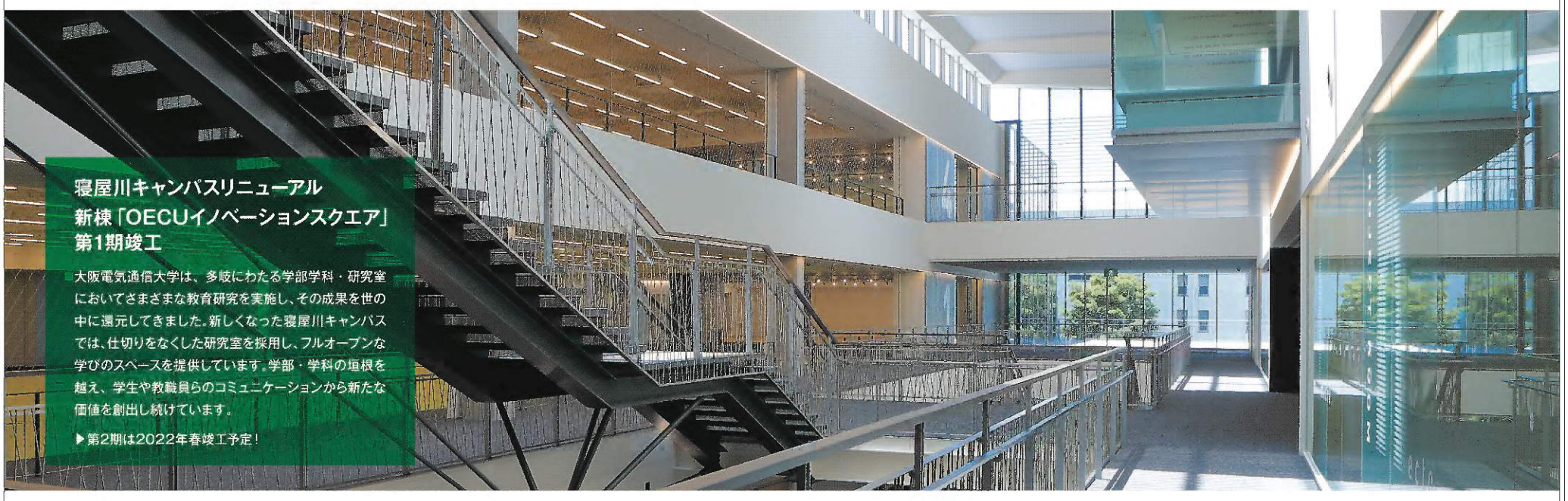
広告　企画・制作／読売新聞社広告局・マナビジョンブック編集部

大学SELECTION
PRODUCED BY YOMIURI SHIMBUN
読売新聞とマナビジョンブックが独自の視点で大学の魅力や特長を紹介するシリーズ企画です

つなぐ知　かなえる技

大阪電気通信大学
Osaka Electro-Communication University



寝屋川キャンパスリニューアル 新棟「OECUイノベーションスクエア」第1期竣工

大阪電気通信大学は、多岐にわたる学部学科・研究室においてさまざまな教育研究を実施し、その成果を世の中に還元してきました。新しくなった寝屋川キャンパスでは、仕切りをなくした研究室を採用し、フルオープンな学びのスペースを提供しています。学部・学科の垣根を越え、学生や教職員らのコミュニケーションから新たな価値を創出し続けています。

▶第2期は2022年春竣工予定！

80年間、目立つ大学より 役立つ大学。

トップインタビュー

大石 利光 学長

INTERVIEW

学園設立以来の実学教育で「役立つ大学」の使命を果たす

AI・IoT時代に即した情報教育を全学科で展開

本学は1941年、無線技術の学校として創設された東亜電気通信工学校に起源を持ちます。以来一貫して、実践的な実学教育に取り組んできました。本学が掲げる「役立つ大学」の使命は、社会や地域から必要とされ、そこで活躍できる人材を育成し、送り出すことです。そこで、情報技術を使いこなす人材を育成すべく、全学科で情報教育を行っています。現代社会では、専門分野の深い知識と高い技術力に加えて、人間力も問われます。自らの意思や豊かな感情を有するような、学生の人間力の涵養（かんよう）に注力することも、本学の実学教育です。

手厚い資格取得支援と個別の就職サポート

就職にあたっては、各学科に就職部の職員がつき、学生を1対1で支援。就職における些細な悩みや相談にもきめ細かく対応することで、悔いのない進路決定を実現しています。

資格取得の支援は、著しい成果を上げている取り組みです。例えば国家資格を含む高難度の資格取得に向けては、教員による対策講座や本学実験センター主催の実技試験対策を実施。手厚いサポートを行っています。このほかにも、学内で受講できる資格支援対策講座の開講や、1年次からのICT関連資格の取得推進を行っています。これらの取り組みの結果、2019年度には資格取得者が1234人にのぼり、実に全学生のおよそ4人に1人が資格取得をしたことになります。

本学は昨年、「採用を増やしたい大学」で全国4位(※)にランクインしました。全学部を挙げての情報教育や日頃からの人間力と技術力を育む取り組み、そして資格取得支援などが着実に社会全体に認識されていると考えています。

学びと研究の広がりを刺激し人間力を高める新キャンパス

現在、寝屋川キャンパスではリニューアル工事を進めており、6月に新棟第1期が竣工しました。22年春には第2期が竣工予定です。

新たに誕生した校舎は「フルオープンな学びのスペース」というテーマ通り、研究室の垣根が取り払われています。ここでは、専門外の学問に触れることができ、学びに広がりが生まれます。また、学部学科間や教職員と学生との間の交流が生まれることでしょう。そういった刺激は人間力を養う絶好の機会となるとともに、新たな研究や将来への目標設定の大きな足掛かりになるはずです。

これからも本学では、情報教育を一層発展させ、一人ひとりの学生の主体的な学びを支援していきます。今後、入学される学生のみなさんが「人間力」と「技術力」を育み、自らが人生を切り拓いていけるように、実践的な実学教育を行い、進化する社会で主体的に活躍できる人材を育成してまいります。

※出典：日本経済新聞（2019年6月5日　朝刊）「人事が見る大学イメージランキング」

フルオープンな学びのスペースとして完成した新校舎

Profile
大石利光（おおいし・としみつ）／1955年長崎県生まれ。コナミスポーツライフ（株）代表取締役社長、コナミスポーツ（株）代表取締役執行役員社長を歴任。2010年大阪電気通信大学医療福祉工学部×健康スポーツ科学科教授などを経て、16年4月に学長就任。18年3月から理事長兼学長。※現 医療健康科学部

医療科学科に生体情報とAI技術を扱う人材を育成する「知能情報コース」が誕生

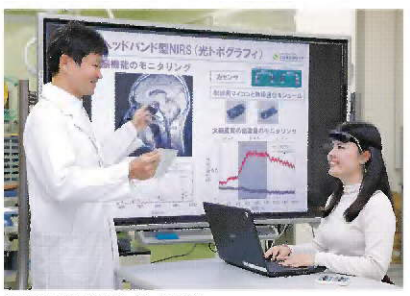
現代社会において、健康の維持・増進は高齢者のみならず、あらゆる世代で大きなテーマになっている。また、医療機器や医療システムには先端のICTが導入され、その流れは今後も加速する一方である。「医療健康」と「技術」の両面からアプローチし、社会が求める人材の育成に努めてきた医療健康科学部はこのような社会に対応すべく、2021年4月から医療科学科に新たに「知能情報コース」を設置する。

同コースでは、人体の構造と機能、生体情報センシング、AI技術を体系的に修得。この学びにより、将来は人間を支援するシステムの開発に携わる「知能情報技術者」として、超スマート社会・健康社会で活躍することが期待される。

同学部は医療科学科に加え、理学療法学科、健康スポーツ科学科の3つの学科で構成。いずれの学科も、先端的なICTを教育・研究に取り入れていることが特徴だ。

例えば理学療法学科では、関節の動きなどを三次元的に測定し、分析する機器を導入。

健康スポーツ科学科では、トップレベルのアスリートが活用しているパフォーマンスの分析ソフトを実習で用いている。在学中から高度なICTに触れ、体験を通して学ぶことで、進化を続ける医療健康の現場をけん引する人材の育成を行っている。



AI・ICTに強い医療スペシャリストへ

専門性を活かしながら実学を重視した情報教育を全学部で実施

「社会に役立つ大学であること」に重きを置き、技術を核にしながら長年にわたる教育・研究を行ってきた大阪電気通信大学。同学にとって、現代社会のカギを握る技術とも言えるICTは、学部や学科の枠を越えて全学的に教育・研究に取り入れ、充実を図っているテーマだ。

同学のICT教育・研究の特色はまず、各学科の専門性が活かされていること。電子機械工学科では社会問題の解決に役立つロボットの研究開発が行われていたり、デジタルゲーム学科／ゲーム&メディア学科においてVR・ARといった先進技術を用いてアイデアを形にしていく研究が行われているのは、その代表例と言えるだろう。

「実学」を重視してきたことも、同学のICT教育・研究の特色だ。AIによって多くの仕事が取って代わられるとも言われるなか、情報技術を使いこなし、機械では代替できない能力を備えた人材への期待が高まっている。同学が長年にわたって力を入れてきた情報教育と実学教育は、日常のあらゆる部分にAIやIoTが浸透した超スマート社会において、欠かせない資質を養うものと言えそうだ。

関西最大級の広さを誇るモーションキャプチャースタジオ。学内にいながらプロの技術や仕事のノウハウが学べる

マナビジョンブック編集長が語る

大阪電気通信大学のココに注目！

大学の知を社会へ還元する「ICT社会教育センター」

日本で初めてパソコンを用いた対話型情報処理環境を構築し、多人数による情報教育の実践を開始した大阪電気通信大学。2018年度に誕生したのが、「ICT社会教育センター」です。

同センターが担う大きな役割は、小学校や中学校におけるプログラミング教育のサポート。学生や同学教員らを教育現場に派遣し、小中学校の教員向けのプログラミング講習も実施。学生が開発したプログラミング学習教材の提供なども行っています。また昨年は社会人を対象に「AI実践フォーラム」を開催し、最新のAI技術とその実践方法をお伝えしました。これらの取り組みは、連携協定を結んだ寝屋川市、四條畷市、大阪市、守口市、茨城県などの各自治体で実際に行われており、大きな成果を上げています。

ICT教育に向けた「教員の教育現場」としても活用される

WEBオープンキャンパス2020

自宅にいながらキャンパスをバーチャル訪問。大学紹介から入試情報、模擬授業まで！その他さまざまなコンテンツを用意し、皆さまをお待ちしております。

7/19(日)10:00～　第2弾配信スタート

※実施内容は変更の可能性があります。詳しくはホームページをご確認ください

キャンパスウォッチング
大学の魅力を動画で紹介 ウェブサイトをチェック！
大学SELECTION　検索

寝屋川キャンパス
■工学部　電気電子工学科／電子機械工学科／機械工学科／基礎理工学科／環境科学科／建築学科
■情報通信工学部　情報工学科／通信工学科

四條畷キャンパス
■医療健康科学部　医療科学科／理学療法学科／健康スポーツ科学科
■総合情報学部　デジタルゲーム学科／ゲーム&メディア学科／情報学科

（入試部入試課）〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18-8
TEL.072-813-7374
E-mail：nyushi@osakac.ac.jp
https://www.osakac.ac.jp/